

第67期

中間報告書

2012年4月1日～2012年9月30日

SEIKAGAKU CORPORATION

(証券コード：4548)

糖質科学で未来を創る

P3

特集：ジェル・ワン
世界最大の市場
米国でのシェア拡大を
目指して



糖質科学で未来を創る

生化学工業は、複合糖質の重要性がまだ解明されていなかった半世紀以上前から糖質科学に着目し、医薬品開発への応用研究を進めてきました。この独創的な創薬への挑戦を通じて、世界の人々の健康で心豊かな生活の向上に貢献するとともに、「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指していきます。

SPECIALIZED FIELD

糖質科学を専門分野とする
製薬企業です。

R&D

研究開発・製造に特化した
ビジネスモデルを展開しています。

高品質な製品を生み出す
高い技術力を持っています。

HIGH QUALITY

糖質科学

糖鎖や複合糖質を研究する科学分野です。近年、重要性が認識され、多くの病気と糖鎖との関係にも注目が集まっています。糖質科学の研究が進むことで、新しい治療法や診断法の開発につながる事が期待されています。

グローバル・カテゴリー・ファーマ

研究開発を得意分野に絞り込んで国際競争力の強化を図る新薬開発企業を意味します。厚生労働省の「新医薬品産業ビジョン」において、今後、製薬企業の中で生き残っていく事業形態の1つとして提言されています。

● 本「中間報告書」における当中間期とは、2012年4月1日から2012年9月30日までの累計期間を表しています。

中期経営計画を着実に押し進め、 「10年ビジョン達成に向けた萌芽形成」に取り組んでいきます

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2009年3月に策定した「生化学工業10年ビジョン」のもと、糖質科学分野に研究開発の焦点を絞り、国際競争力を確立する「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指しています。

当期は、重点戦略に対して積極的な投資を行い成果の芽を出すことに取り組む4カ年の中期経営計画の初年度です。当中間期は、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止の影響等により売上高は減収、利益面でも各開発テーマの進捗に伴い研究開発費が増加したことなどにより減益となりましたが、主力製品のアルツは、国内で販売数量を伸ばすとともに、海外でも中国を中心に売上が増加しました。また、米国で提起されていた単回投与の関節機能改善剤Gel-One（ジェル・ワン）に対する特許侵害訴訟において、当社の侵害を否定する勝訴判決が下されました。これを受けて、米国での成長ドライバーとして位置づけているジェル・ワンの本格販売が可能となりました。今後、販売提携先とともにシェア獲得と新規市場開拓を図り、拡大余地の大きい米国での拡販に注力していきます*。新薬開発につきましても、腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603の国内開発が最終段階に入り、米国でも第Ⅲ相臨床試験に向けた準備を進めています。また、生産面では、9月に高萩工場のジェル・ワン製造設備が竣工するなど、将来の需要拡大に対応する準備も順調に進展しました。このように、「10年ビジョン達成に向けた萌芽形成」が着実に進捗しています。

生化学工業は、持続的な成長を通じて株主価値の向上に努めるとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題と位置づけ、今後も皆さまから高い信頼を得られるよう全力で取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* ジェル・ワンにつきましては、3~4ページで詳しくご説明しています。



代表取締役社長

水谷 建

利益分配に関する基本方針

中期経営計画初年度である2013年3月期より、1株当たり年間25円を基本とし、安定的かつ継続的な配当を目指していきます。

| | 2011年3月期 | 2012年3月期 | 2013年3月期 |
|------------|----------|----------|------------|
| 1株当たり年間配当金 | 25.00円 | 25.00円 | 25.00円(予想) |
| 【内訳】 | 中間配当金 | 12.50円 | 12.50円 |
| | 期末配当金 | 12.50円 | 12.50円(予想) |
| 配当性向 | 57.9% | 43.4% | 52.6%(予想) |

世界最大の市場 米国でのシェア拡大を目指して

生化学工業は、2001年より米国で複数回投与製品と製品の関節機能改善剤「SUPARTZ（スパルツ）」の販売を開始し、これまで米国市場におけるプレゼンスを高めてきました。さらに、2011年3月に単回投与製品であるGel-One（ジェル・ワン）の承認を取得し、製品ラインナップを拡充させました。今後、ジェル・ワンを新たな成長ドライバーとして、世界最大市場の米国におけるシェア拡大を目指していきます。



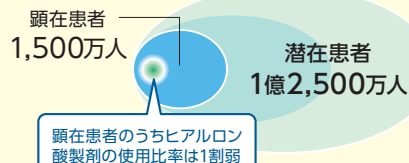
POINT 1 単回投与製品が牽引する米国市場

米国における変形性ひざ関節症の顕在患者数は1,500万人、潜在患者数は1億2,500万人と推計されており、顕在患者の中でもヒアルロン酸製剤の使用割合は1割弱と低い状況です。また、高齢者人口が2025年まで年率3%以上で増加するといわれていることから、米国におけるヒアルロン酸製剤の需要拡大の余地は大きいと見えています。

一方で、これまで複数回投与製品のみで形成していたヒアルロン酸製剤市場に、2009年から単回投与製品が投入されたことにより年率平均13%で拡大し、2012年には7億9,000万ドルまで成長すると予測されています。2012年の単回投与製品のシェアは約40%まで上昇していると推測され、市場拡大傾向は今後も続くものと考えられます。

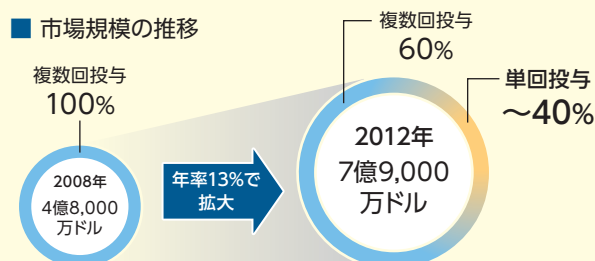
米国におけるヒアルロン酸製剤の市場状況

■ 変形性ひざ関節症の患者数



⇒ヒアルロン酸製剤の需要拡大の余地は大きい

■ 市場規模の推移



⇒2009年の単回投与製品の発売により市場拡大が加速

※ 数値は当社推計

POINT 2 単回投与製品ジェル・ワンの製品特性



Gel-One® (ジェール・ワン®)

高い粘弾性

当社独自の技術で創製した架橋ヒアルロン酸ゲルを主成分とし、その高い粘弾性により関節内の潤滑作用を補助します。

少量で効果を示す

3mLという少量を1回投与することで複数回投与製品と同等の効果を示し、患者の方々の負担軽減に寄与します。

安全性

プラセボ（偽薬）と比較した臨床試験で、統計学的に副作用の発現率に大差がありませんでした。

POINT 3 ジンマー社の営業展開

拡大する米国市場において、当社ではジェル・ワンを新たな成長ドライバーとして位置づけています。整形外科領域で多くの実績を持つ販売提携先のZimmer（ジンマー）社では、既存顧客へのアプローチを手始めにプロモーションを積極化させていく方針です。ジェル・ワンはすでに公的保険の償還対象となっており、現在では、各民間保険会社の償還リストへの掲載を進めるなど、本格販売に向けた基盤整備も進展しています。

ジンマー社の高い営業力

- 人工関節領域におけるリーディングカンパニー
- 整形外科領域で高い信頼性を確立
- 米国で幅広い販売チャネルを持つ

ジェル・ワン
パンフレット
(ジンマー社)



ジェル・ワンの製品特性とジンマー社の高い営業力により、市場シェア獲得と新規開拓を通じて、拡大余地の大きい米国での拡販に取り組んでいきます。

ジェル・ワンの新製剤設備が竣工

中長期的な需要拡大に対応できる生産能力を確保するため、ジェル・ワン専用の製造設備を高萩工場に新設しました。設備投資額は32億円で、2014年1月の稼働開始を予定しています。

※ ジェル・ワンは、2011年4月に米国で特許侵害訴訟を提起されましたが、2012年8月に特許侵害を否定する勝訴判決が下されました。

決算の概況

当中間期：2012年4月1日～2012年9月30日 前中間期：2011年4月1日～2011年9月30日

(百万円)

| 科目 | 当中間期 | 前中間期 | 増減率 |
|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 13,239 | 13,795 | -4.0% |
| 営業利益 | 1,324 | 3,213 | -58.8% |
| 経常利益 | 1,781 | 3,183 | -44.1% |
| 四半期純利益 | 1,266 | 2,109 | -40.0% |
| 研究開発費 | 3,412 | 2,422 | +40.8% |

売上高／132億3千9百万円(前中間期比4.0%減)

国内アルツや海外医薬品の販売数量が増加した一方で、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止等による減少があったことにより、売上高は前中間期と比べ4.0%減少し132億3千9百万円となりました。

※ セグメント別の売上概況については7～8ページをご覧ください。

営業利益／13億2千4百万円(前中間期比58.8%減)

各開発テーマ進捗に伴う研究開発費やジェル・ワン訴訟費用を中心に販売費及び一般管理費が14億3千万円増加したことから、営業利益は58.8%減少し13億2千4百万円となりました。

なお、当中間期における研究開発費は前中間期比40.8%増の34億1千2百万円となり、対売上高比率は25.8%となりました。

四半期純利益／12億6千6百万円(前中間期比40.0%減)

経常利益は受取ロイヤルティの発生に伴う営業外収益の増加等により減益幅が縮小し、44.1%減の17億8千1百万円、四半期純利益は40.0%減の12億6千6百万円となりました。

財政状況

当中間期末：2012年9月30日 前期末：2012年3月31日

(百万円)

| 科目 | 当中間期末 | 前期末 | 増減額 |
|---------|--------|--------|--------|
| 流動資産 | 29,502 | 30,812 | -1,310 |
| 固定資産 | 37,597 | 37,917 | -319 |
| 資産合計 | 67,100 | 68,730 | -1,630 |
| 流動負債 | 8,001 | 8,974 | -973 |
| 固定負債 | 785 | 1,742 | -956 |
| 負債合計 | 8,786 | 10,717 | -1,930 |
| 純資産合計 | 58,314 | 58,013 | +300 |
| 負債純資産合計 | 67,100 | 68,730 | -1,630 |

■ 資産の部

前期に計上済みの「有形固定資産」(第5製剤棟やヒアルロン酸原体製造設備等)の支払いに対して、運用資産(「有価証券」等)を充当したことなどから、前期末と比べ16億3千万円減の671億円となりました。

■ 負債の部

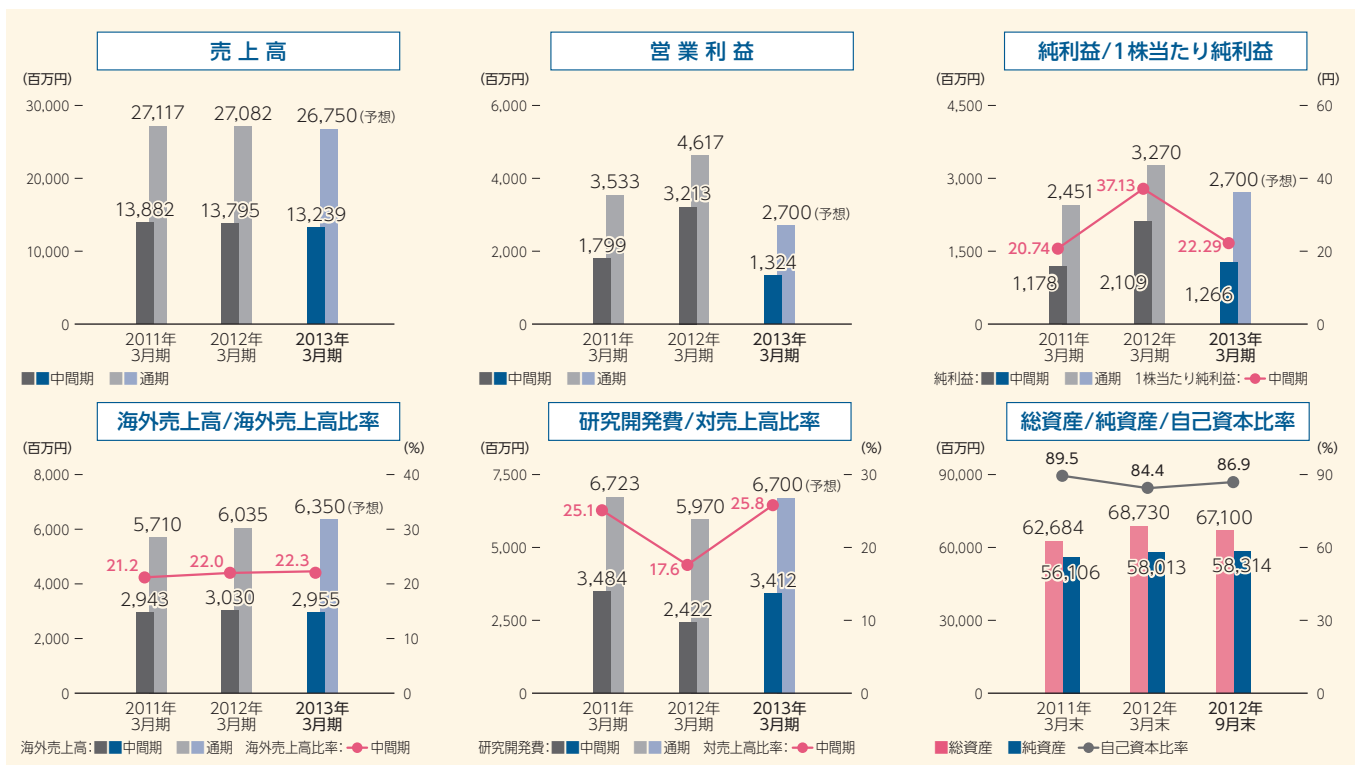
設備投資の支払い等により「未払金」が減少したことに伴い、前期末と比べ19億3千万円減の87億8千6百万円となりました。

■ 純資産の部

「利益剰余金」が増加したことなどから、前期末と比べ3億円増の583億1千4百万円となりました。

財務諸表など業績に関する詳細は、当社ホームページの株主・投資家向け情報サイトをご覧ください。

<http://www.seikagaku.co.jp/ir/index.html> (決算説明会の動画も視聴できます。)



通期の業績見通し

(百万円)

| 科目 | 2013年3月期 業績見通し | 増減率 (前期比) |
|-------|-------------------|--------------|
| 売上高 | 26,750 | -1.2% |
| 営業利益 | 2,700 | -41.5% |
| 経常利益 | 3,550 | -25.6% |
| 当期純利益 | 2,700 | -17.5% |
| 研究開発費 | 6,700 | +12.2% |

※ 2012年5月10日に発表した2013年3月期連結業績予想を修正しました。なお、中間期以降の業績予想の為替レートは、期首想定レートの対米ドル81円から78円に変更しています。

売上高は、国内外でのアルツの販売数量が増加する一方で、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止等に伴う減少があり267億5千万円(前期比1.2%減)となる見通しです。

営業利益は、薬価改定の影響などにより売上総利益が減少することに加え、各開発テーマの進捗により研究開発費が増加することから27億円(同41.5%減)となる見通しです。経常利益は、受取ロイヤリティーの発生等に伴い減益幅が縮小し35億5千万円(同25.6%減)、当期純利益は、高萩工場への産業再生特区指定に伴う優遇税制もあり27億円(同17.5%減)となる見通しです。

なお、研究開発費の予想は67億円(同12.2%増)で、対売上高比率は25.0%となります。

生化学工業は、ヒアルロン酸製剤を中心とした医薬品事業を柱に、世界をフィールドとした事業展開を行っています。

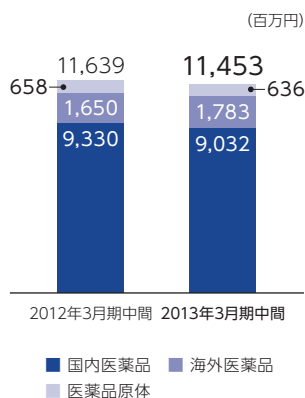
医薬品事業

ヒアルロン酸を主成分とした医療用医薬品・医療機器の製造・販売を展開する、当社のコア事業です。

■ 売上高構成比



■ 売上高の内訳



■ 当中間期の業績

国内医薬品 売上高90億3千2百万円 (前中間期比3.2%減)

関節機能改善剤の国内市場は、高齢者人口の増加に加え、販売提携先である科研製薬株式会社とともに推進している変形性ひざ関節症の疾患啓発活動により、引き続き拡大しました。**アルツ**についても、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことで、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大しました。しかしながら、当社売上は、薬価引き下げの影響を受け微減となりました。

眼科手術補助剤**オペガン**は、販売提携先の参天製薬株式会社と連携した販売促進活動に努めたことや、前中間期に震災や節電の影響を受けて白内障手術件数が減少した反動もあり、医療機関納入本数は増加しましたが、競争が厳しさを増しており市場シェアは減少しました。当社売上は、薬価引き下げや販売提携先の在庫調整の影響により減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材**ムコアップ**は、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに内視鏡手術の手技を浸透させる施策に注力したことから、増加しました。

海外医薬品 売上高17億8千3百万円 (前中間期比8.1%増)

米国向け関節機能改善剤**スパルツ**は、一部の保険会社による償還厳格化の影響を受けましたが、競合品との差別化に特化した営業戦略を展開したことから、現地販売は微増となりました。当社の輸出売上は、販売提携先が在庫水準を高めたこともあり増加しました。

中国向け**アルツ**は、主要都市の医療機関を中心に「高い品質」や「世界初のオリジナル製品」であることが評価され、好調を維持しました。

医薬品原体 売上高6億3千6百万円 (前中間期比3.4%減)

前中間期にあった出荷時期ずれの反動でヒアルロン酸が増加した一方、コンドロイチン硫酸の出荷が低水準であったため減少しました。

関節機能改善剤

「アルツ®・アルツディスポ®・SUPARTZ®(スパルツ®)」

アルツは、関節液にヒアルロン酸が含まれていることに着目して開発した、世界初のヒアルロン酸を主成分とする関節機能改善剤です。関節内に投与することにより、中高年層に多い「変形性ひざ関節症」「肩関節周囲炎」「関節リウマチにおけるひざ関節痛」の症状改善に寄与します。



アルツディスポ®
関節注25mg

SUPARTZ®
(スパルツ®)

関節機能改善剤

「Gel-One®(ジェル・ワン®)」

ジェル・ワンは、アメリカで医療機器として承認を取得した単回投与の関節機能改善剤です。架橋ヒアルロン酸ゲルを主成分とするジェル・ワンは3mLという少量を1回投与することで効果を示します。



眼科手術補助剤

「オペガン®・オペガンハイ®」

ヒアルロン酸の高い粘弾性により眼内空間の保持や角膜内皮細胞を保護し、白内障手術をサポートする眼科手術補助剤です。



内視鏡用粘膜下注入材

「ムコアップ®」

優れた粘弾性を持つヒアルロン酸の特性を活かした、内視鏡手術の補助材です。



医薬品原体

ヒアルロン酸・コンドロイチン硫酸

独自の抽出・精製技術をもとに製造された高純度・高品質な製品です。主に医薬品の原料として使用されます。



LAL事業

医薬品・医療機器の品質管理に使用されるエンドトキシン測定用試薬などの製造・販売を国内外で展開しています。

■ 売上高構成比



LAL: Limulus Amebocyte Lysate(カプトガニの血球抽出液)の略。エンドトキシン測定用試薬の主成分。

■ 当中間期の業績

売上高17億8千5百万円(前中間期比17.2%減)

エンドトキシン測定用試薬は前中間期並みとなりましたが、2012年3月に研究用試薬事業を廃止した影響により、売上高は減少しました。

■ エンドトキシン測定用試薬



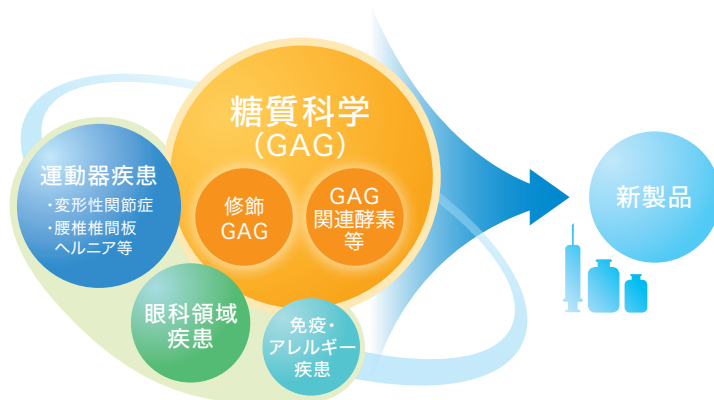
事業セグメント変更のお知らせ

医薬品原体、エンドトキシン測定用試薬および研究用試薬で構成していた機能化学事業のうち、医薬品原体を医薬品事業に含め、エンドトキシン測定用試薬をLAL事業としました。なお、研究用試薬事業は2012年3月に廃止しました。

生化学工業は、専門分野としている糖質科学に研究開発の焦点を合わせて、新製品の早期かつ継続的な上市を実現するために、自社開発・開発品導入をバランスよく推進するとともに、内外のネットワークの強化や組織体制の整備にも努めています。

研究開発基本方針

当社は、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な研究開発活動を推進しています。対象とする物質は、当社が長年携わってきた複合糖質の主要成分のひとつであるグリコサミノグリカン (GAG) です。また、アルツの開発、製造、販売を通じて培ってきた技術や経験が活かせる運動器疾患をはじめ、眼科領域疾患、免疫・アレルギー疾患を重点疾患としています。さらに、開発パイプラインの拡充のために、他社からのテーマ導入にも取り組んでいます。

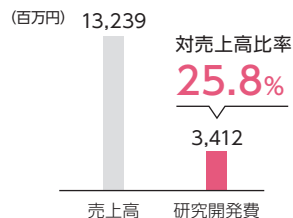


経営資源を集中的に投入

研究開発型製薬企業である当社は、独創的な医薬品および医療機器などの創製に取り組むため、経営資源を研究開発に集中的に投入しています。

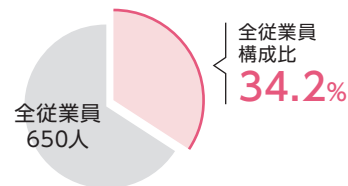
研究開発費については、売上高の20%程度とすることを基本方針としています。また、全従業員の3分の1が研究開発要員であることも、新製品開発を重視する姿勢の表れです。

■ 研究開発費(連結)
3,412百万円*1



*1 当中間期

■ 研究開発要員(連結)
222人*2



*2 2012年9月末現在

開発パイプラインリスト

| 開発コード・物質名 | 適応症等 | 開発地域 | 前臨床 | 第Ⅰ相 | 第Ⅱ相 | 第Ⅲ相 | 申請 |
|-----------------------------|-------------------------|------|-----|-----|-----|-----|----|
| SI-6603 コンドリアーゼ | 腰椎椎間板ヘルニア | 日本 | | | | ● | |
| | | 米国 | | | ● | | |
| SI-657 ヒアルロン酸 | 腱・靭帯付着部症 (アルツの適応症追加) | 日本 | | | ● | | |
| SI-614 修飾ヒアルロン酸 | ドライアイ | 米国 | | | ● | | |
| SI-615 アデノシンA3レセプターアゴニスト | 関節リウマチ | 日本 | | ● | | | |
| SI-613 | 関節疾患領域 | | | ● | | | |

◎パイプライン解説

前臨床試験

新規物質の有効性と安全性の研究

第Ⅰ相臨床試験

少数の健康な人を対象に副作用などの安全性について確認

第Ⅱ相臨床試験

患者さんを対象に有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認

第Ⅲ相臨床試験

多数の患者さんを対象に有効性と安全性を確認

申請

販売に向けた承認申請と専門家による審査

SI-6603：腰椎椎間板ヘルニア治療剤

日本では第Ⅲ相試験が進展 米国では第Ⅲ相試験に向け準備中

腰椎椎間板ヘルニアとは、椎間板の中心にある髄核の一部が突出することで脊椎周辺の神経を圧迫し、痛みやしびれを引き起こす疾患です。この腰椎椎間板ヘルニアを適応症とするSI-6603は、日本において第Ⅲ相試験を実施しています。また、米国では第Ⅱ相試験の経過観察が終了し、現在第Ⅲ相試験の開始に向けた準備をしています。

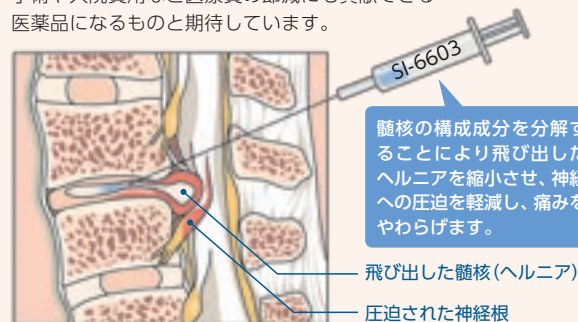
日本におけるSI-6603の対象患者数

腰椎椎間板ヘルニアの年間受診患者数は日本で約110万人*と推計されています。このうち、SI-6603の対象患者は、神経ブロック注射や手術を必要とする重度な場合を想定しており、全体の約1~2割*になると考えています。

* 調査会社の調査による処方箋数をもとに当社推計

SI-6603の特徴

椎間板への1回の注射で手術による治療と同程度の効果が見込まれることから、患者の方々の身体的な負担の軽減だけでなく、手術や入院費用など医療費の節減にも貢献できる医薬品になるものと期待しています。



～ひざの痛みや病気に関する誤解を科学的に解き明かす～

変形性ひざ関節症の疾患啓発サイト「ひざ科学研究所」を開設

当社とアルツの販売提携先である科研製薬株式会社は、ひざの痛みの予防と改善を目指し、変形性ひざ関節症の疾患啓発サイト「ひざ科学研究所」を2012年7月10日に開設しました。

中高年のひざの痛みは、関節の病気（多くは変形性ひざ関節症）に起因していることが多いにもかかわらず、「年のせいだから仕方がない」、「病院に行くほどではない」という誤った認識を持たれている方が多く存在します。

「ひざ科学研究所」は、こうしたひざの痛みに対する誤解を解消し、いくつになっても元気に歩き、イキ

きとした生活を送りたい、そんな方々を応援する疾患啓発サイトです。

このサイトでは、「ひざの痛みを解き明かす」をテーマに理系女子大生コミュニティ「凜」のメンバーが調査活動や取材を行い、東邦大学名誉教授の勝呂徹すくろととおる先生の解説を交え、ひざの痛みや違和感を持たれている方やその家族の方々に対して、変形性ひざ関節症に関する情報などをわかりやすく発信していきます。

ぜひ、当サイトをチェックしてみてください！



「ひざ科学研究所」が調査結果を発表

ひざの痛みと治療に対する3つの誤解が浮き彫りに！

「ひざ科学研究所」では、40歳代から70歳代の男女1,000名を対象に「ひざの痛みと対処法に関するアンケート調査」を実施しました。この調査結果から、ひざの痛みの原因や治療に関して、3つの誤解が明らかになりました。

「ひざ科学研究所」では、この3つの誤解を解くメッセージを発信しています。

- 誤解① ひざの病気は高齢者だけのもの
- 誤解② 自己流の対処で痛みがとれば大丈夫
- 誤解③ 病院に行くほどのことではない



この3つ、
全部誤解だよ！

「ひざ科学研究所」トップページ



ひざ研

検索

<http://www.hizaken.com>

ぼく、ヒアルンくん。
ひざの痛みを解決する
ために、今日も
がんばっています。



ヒアルンくん

～あなたのひざは大丈夫？ ひざの公開診察室～

ひざの痛みの原因や予防・治療方法を紹介する番組を放映

2012年9月15日にBSジャパンにて、当社とアルツの販売提携先である
科研製薬株式会社が協賛したテレビ番組「あなたのひざは大丈夫？
ひざの公開診察室」が放映されました。同番組では、東邦大学名誉教授の
勝呂 徹 先生がゲストのひざの公開診察を行うなど、医師による“ひざ”
の診察を視聴者の方々に身近に感じていただくとともに、変形性ひざ関
節症の早期発見・早期治療の重要性をわかりやすくお伝えしました。



放映した番組の
ダイジェスト版を
ひざ研webサイト
で公開中！



ダイジェスト版はこちらから
⇒ <http://www.hizaken.com/digest/index.html>

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝の意を表
すとともに、当社株式への投資魅力を
さらに高め、より多くの株主さまに長
い期間保有していただくことを目的と
して、株主優待制度を導入しています。

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記録さ
れた当社株式100株(1単元)以上保有
の株主さまを対象とします。

優待内容

● 下記のとおり、保有継続期間の区分により
QUOカードを贈呈いたします。

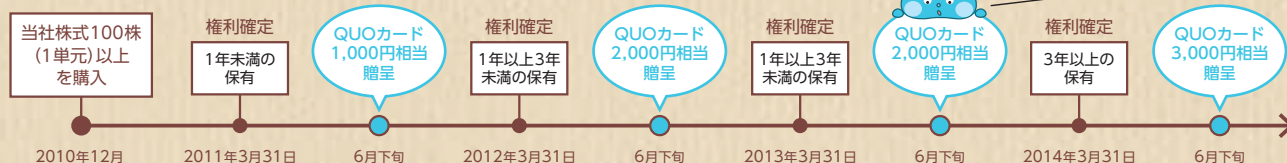
- 1年未満の保有…………… QUOカード1,000円相当
- 1年以上3年未満の保有… QUOカード2,000円相当
- 3年以上の保有…………… QUOカード3,000円相当



グリーンシューズカード

※ 保有継続期間は毎年3月31日を基準日とし、同一株主番号で継続して当社株主名簿に記録されて
いる期間とします。なお、期中に全株式を売却後、再度購入された場合や、貸株制度の利用など
により、株主番号が変更になった場合は、保有継続と判定されませんのでご注意ください。

例) 2010年12月に当社株式100株(1単元)以上を購入し継続して保有した場合



会社概要 (2012年9月30日現在)

| | |
|------|------------------------------------|
| 社名 | 生化学工業株式会社 |
| 創立 | 1947年(昭和22年)6月2日 |
| 資本金 | 38億4,040万円 |
| 従業員数 | 650名(連結ベース) |
| 事業内容 | 複合糖質を中心とした医療用医薬品、 医療機器等の製造および販売 |

所在地

本社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目6-1
丸の内センタービルディング
TEL: 03-5220-8950

中央研究所

〒207-0021
東京都東大和市立野三丁目1253
TEL: 042-563-5811

久里浜工場

〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜七丁目3-1
TEL: 046-835-3311

高萩工場

〒318-0001
茨城県高萩市大字赤浜字松久保258-5
TEL: 0293-23-1181

役員 (2012年9月30日現在)

| | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 水谷 建 | 常勤監査役 | 金子 健志 |
| 代表取締役専務取締役 | 矢倉 俊紀 | 常勤監査役 | 三富 得司 |
| 常務取締役 | 宮本 政臣 | 社外監査役 | 竹内 信博 |
| 社外取締役 | 片山 英二 | 社外監査役 | 佐藤 順哉 |
| 取締役常務執行役員 | 川村 秀樹 | 社外監査役 | 山田 明文 |
| 取締役常務執行役員 | 大西 和明 | | |
| 取締役 | 福本 安志 | | |
| 取締役 | 石川 慎一 | | |

事業所

中央研究所

創業研究の要として、先進設備を揃え、充実した環境のもとで創造性を重視した研究活動を行っています。



久里浜工場

医薬品原体(ヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸)を製造しています。



高萩工場

アルツ、オベガンの製造を行っています。生産能力増強を目的として第5製剤棟の建設を開始しました。



グループ会社

ASSOCIATES OF CAPE COD, INC.
(アソシエーツ オブ ケープ コッド インク)

エンドトキシン測定用試薬の開発を世界で初めて成功させ、米国食品医薬品局(FDA)から承認を取得した試薬専門メーカーです。米国マサチューセッツ州ファルマスに本社をおいています。



株式数および株主数 (2012年9月30日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 234,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 58,584,093株 |
| 株主数 | 17,542名 |

大株主の状況 (2012年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 1 新業株式会社 | 7,843 | 13.8 |
| 2 株式会社開生社 | 7,293 | 12.8 |
| 3 ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー | 4,270 | 7.5 |
| 4 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱化学株式会社退職給付信託口) | 3,105 | 5.5 |
| 5 資産管理サービス信託銀行株式会社 (みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口) | 1,973 | 3.5 |
| 6 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,536 | 2.7 |
| 7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,079 | 1.9 |
| 8 科研製薬株式会社 | 807 | 1.4 |
| 9 有限会社桐栄興産 | 700 | 1.2 |
| 10 公益財団法人水谷糖質科学振興財団 | 693 | 1.2 |

※ 持株比率は自己株式(1,777千株)を控除して計算しています。

株主メモ

■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会

6月

■ 配当金受領株主確定日

3月31日(なお、中間配当を行う場合の
確定日は9月30日)

■ 基準日

定時株主総会については、3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告する一定の日

■ 株主名簿管理人／

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4-5

《株式事務に関するお問い合わせ》

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10-11
TEL: 0120-232-711(フリーダイヤル)
ホームページアドレス
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

《住所変更等のお手続》

株主さまのお取引の証券会社
ただし、特別口座に登録された株式に関する
お手続は三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代
行部(左記)で受け付けます。

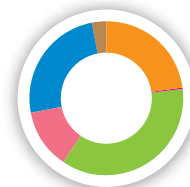
《未払配当金受領のお手続》

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

■ 公告方法

電子公告掲載ホームページアドレス
<http://www.seikagaku.co.jp/ir/kk.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に公告します。

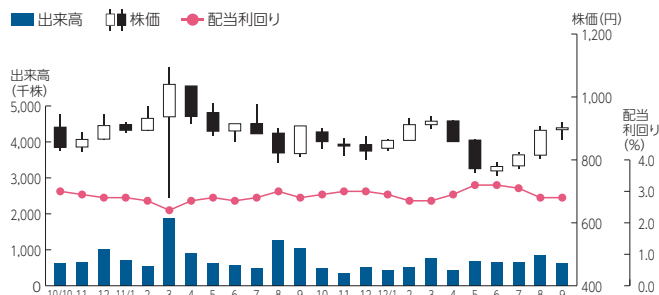
所有者別株式分布状況 (2012年9月30日現在)



| | |
|----------|--------------------------|
| 金融機関 | 13,436千株 (22.9%:35名) |
| 金融商品取引業者 | 197千株 (0.3%:27名) |
| その他の国内法人 | 21,346千株 (36.5%:114名) |
| 外国法人等 | 7,280千株 (12.4%:106名) |
| 個人・その他 | 14,546千株 (24.9%:17,259名) |
| 自己株式 | 1,777千株 (3.0%:1名) |

※1 その他の国内法人には証券保管振替機構名義株式(4千株)が含まれています。
※2 個人・その他には政府・地方公共団体名義株式(65株)が含まれています。

株価および出来高推移



ひざイキイキ掲示板

Web
サイト



変形性ひざ関節症に関する情報を幅広く紹介しています！ぜひ、ご覧ください。

ひざイキイキ

検索

<http://www.ehiza.jp/>



Webサイト「ひざイキイキ」には、ひざの痛みに関する情報が満載！今すぐチェックしてね！！



変形性ひざ関節症を予防しよう！

おうちでできる簡単エクササイズ

いつまでもイキイキとしたひざでいられるように、毎日の生活のなかで無理のない適度な運動を続けましょう！

ひざの動きを滑らかにするストレッチ方法

— ひざの筋肉をのばすストレッチ —

- ① あお向けになり、片方の太ももの裏を両手で抱えます。
- ② 抱えた脚を軽く痛みがない程度に胸に引き寄せて、5秒間止めます。
- ③ ②の動作を5～10回繰り返し、脚を変えて反対側の脚も同様に行います。

①



②



生化学工業株式会社

<http://www.seikagaku.co.jp/>



本冊子は、FSC®認証紙を使用し、「Non-VOC」の大豆油を主体とした植物油系インキを使い、「水なし印刷」で印刷しています。